

# 日本遺族通信

平成28年1月15日 第781号

一般財団法人日本遺族会  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一七号  
 電話 03-3261-5521  
 03-3261-5522  
 00160-6-25389  
 00160-6-25390  
 00160-6-25391  
 00160-6-25392  
 00160-6-25393  
 00160-6-25394  
 00160-6-25395  
 00160-6-25396  
 00160-6-25397  
 00160-6-25398  
 00160-6-25399  
 00160-6-25400

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

## 平成28年度 本会の要望概ね計上

### 28年度 遺骨収集事業が拡充強化

平成二十八年度政府予算案は、十二月二十四日閣議決定した。本会の戦没者遺族の処遇改善に関する要望事項は、公務扶助料、遺族年金等の据え置きをはじめ、遺骨収集推進事業の拡充強化、戦没者遺児による慰霊友好親善事業等の実施、全国戦没者追悼式の挙行経費等その他の処遇改善項目に係る予算も概ね、概算要求通りに計上された。

政府が閣議決定した平成二十八年度予算案は、七千二百二十八億円となり、四年連続で過去最大を刷新した。このように極めて厳しい財政状況の中、本会は十二月十五日、第七十七回全国戦没者遺族大会を自由民主会館八階ホールで開催し、来賓の



## 新年のごあいさつ

日本遺族会会長  
参議院議員  
水落敏栄

「遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。天皇皇后両陛下におかれましては、昨年のベリリユー島の訪問に続き、本年、海外戦没者数最多五十二万人が戦没されたフィリピンへの訪問を発表されました。この間妻の特別給付金

本遺族政治連盟唯一の比列代表候補者「水おち敏栄」氏の必勝を期する総決起大会を開催した。宇田川劔雄理事長代行が「水おち敏栄候補の三回目の出馬を棄たすため、総力を結集して国政に送るよう頑張るつもりはないか」と挨拶した。

「水おち敏栄氏が「来夏の選挙は、今後の」



水おち敏栄氏の必勝を期する総決起大会の様子が写っています。

表現に対する理解と協力を実現した。そして、全国大会後、参議院を代表して、自民党本部、国会に赴き、地

九段会館を返還 十一月二十五日には九段会館被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭を厳粛に執り行い、さらには解体処分となる九段会館の建物全体及び建立されている碑の清版一式を靖国神社の奉仕で執り行った。

「平和であったならば有意義な人生を送った人が命を失った」と英霊戦没者の深い哀悼の意を示された。また戦争を知らない世代が増えている事を挙げ「先の戦争の事を十分に知り、考えを深めていく事が日本の将来にとって極めて大切」と強調された。

特別別慰金の継続増額、ご遺骨の帰還促進の為に議員立法等、遺族皆様の処遇改善等に加え、文部科学大臣政務官、二階の参議院文教科学委員長を拜命し、教育、文化の振興等にも携わらせていただきます。これも偏らご遺族皆様のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

心より感謝申し上げます。また六月には日本遺族会会長を仰せつかりました。戦後七十年の節目の年に、社会的にも大変責任の重い大役をお引き受けし、身の引き締まる気持ちで一杯です。

遺族会の活動とは、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぎ、恒久平和な社会の実現を目指すものであり、平和とは、人間の命の尊厳を守ることであり、普遍的テーマであります。命を尊ぶ社会となれば、おのずと戦争、紛争は勿論、いじめなどもなくなると思えます。だからこそ、私たちの活動には大義があります。

昨年一月には本年の参議院選挙に、遺族会唯一の候補者として参議院議員に立候補いたしました。選挙非力で私定めてありますが組織で決まっております。青年部の研修会が開催されました。

しかし、青年部の結成には各都道府県で温度差があることは否めません。平和で豊かな時代に育った世代が、死と隣り合わせの時代に思いを馳せるのはとても難しいことでしょう。平和学習の一環で学校に戦争体験を話した経験のある方が「日本はどこの国と戦争したのですか?」「赤紙はなぜ拒否できないのですか?」といった子供たちの質問に面喰らったお話しをされていました。それはどに意識が導くのか

「平和であったならば有意義な人生を送った人が命を失った」と英霊戦没者の深い哀悼の意を示された。また戦争を知らない世代が増えている事を挙げ「先の戦争の事を十分に知り、考えを深めていく事が日本の将来にとって極めて大切」と強調された。

新しい年が明けた。日本列島は南にある高気圧から暖かい空気が流れ込み、気が流れ込み、3月4月中旬並みの陽気。松の内梅もほころぶ陽気な。という句に傾く諸君も多かったのではないかと。そんな中、天皇陛下は新年正旦の御感想を発表され、冒頭で昨年が戦後70年だった事に触れ、改めて国の平安を祈念された。82歳の誕生日を迎えられた際には「様々な面で先の戦争のことを考えて過した」と語り、「平和であったならば有意義な人生を送った人が命を失った」と英霊戦没者の深い哀悼の意を示された。また戦争を知らない世代が増えている事を挙げ「先の戦争の事を十分に知り、考えを深めていく事が日本の将来にとって極めて大切」と強調された。

謹賀新年

一般財団法人  
日本遺族会

会長 水落敏栄  
副会長 宇田川劔雄  
同 市來健之助  
専務理事 畔上和男  
他役職員一同

洗心懇談会 (題不同)

東郷 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会  
三笠 保存会  
中央 乃木会  
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
隊友 連盟  
日本 郷友連  
水交 友社  
借国 行社  
靖国 神社  
英霊にこたえる会  
日本 遺族会

九段会館を返還

十一月二十五日には九段会館被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭を厳粛に執り行い、さらには解体処分となる九段会館の建物全体及び建立されている碑の清版一式を靖国神社の奉仕で執り行った。





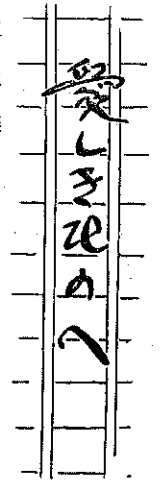
# 日章旗の返還今後も継続

## 「OBONソサエティー」に改名

OBON2015は、終戦七十周年の二〇一五年のお盆を目標に、海外に流失した日章旗を一枚でも多く日本へ返還するための活動に従事し、昨夏無事目的を果たした。今回こうした功績が認められ、日米戦後七〇周年を記念して外務大臣表彰を受けることが決まった。新年を迎え、「OBONソサエティー」に改名し、今後も返還活動を続けていく。

OBON2015は、十二年後に返還された経路をたどる。終戦七十周年の昨年八月には、この活動の集大成として、ジーク夫妻は米国のオレゴン州在住の歴史研究者レックス・ジーク氏と、ビルマで戦死した祖父が出征の際に持参した日章旗を最終から一から開始された活動である。安倍首相内閣総理大臣に

父上様



陸軍兵長 福島 實

昭和十九年一月十日  
佐賀県神埼郡東吉野村出身 二十六歳  
フリピンにて戦死

拝啓、その後父上他御一同様には、御姿は元気の事と思ひます。實も相変はず元気ですが、先日敗残兵の敵弾に右肩を見舞はれ、目下手厚く看護を受けています。傷は浅く心配御無用です。左は自分が作った詩です。あまり良くできていませんが、御送り致します。時候柄御自愛等一。

父上様

武人は名を惜しむ

咲いて大和の山桜 散つて九段の宮柱

千代八千代 栄える大和仰ぎ見る

君のめぐみのいとたふと

千代八千代 敵は幾方来たれども

びくともしまじ大和魂

支那海の波路の上に父恋し

(原文のまま)  
平成二十八年一月靖国神社社頭掲示  
愛しきものへ

遺族の為と思つて努力をして参りましたが、日章旗返還を望まれる提供者の対応をしてくれる中で、この活動はアメリカ人にとつては大切な意味があるのだと気が付きました。戦勝国である彼らも心に悔い負ひ七十年という年月が過ぎても、その傷癒えなれない。人も少なからずあります。当時、戦利品として持ち帰った旗を保管し、遺族を想われ、返還したいと切望される人たちは沢山いらっしゃいます。日章旗返還と共に、私たちがはげしい「家族」としての温かな気持ちをお届けしたいと思ひます。この度の外務大臣表彰は、長年に渡りサポートをして頂いた日本遺族会を始めとする各都道府県遺族会関係者の皆様や、日本サポーターの方々、日章旗提供者たち、そして、ご

英霊のお力添えがあつて、米の架け橋となり、日章旗返還を通じて平和と友誼を築き、今年が「OBONソサエティー」に改名して、日参ります。この度は、誠に有難うございました。



明治から昭和にかけて日本が関わってきた各時代の戦況を伝える約2,500点の展示資料  
=新潟県、妙高市で

### 平和の尊さを語り継ぐ 展示会・学習会を開催

妙高市・太田市で

終戦七十周年の今年、新たな展示会や学習会が開催された。新潟県では、妙高市で



### 九段短歌

遺族の為に思つて努力をして参りましたが、日章旗返還を望まれる提供者の対応をしてくれる中で、この活動はアメリカ人にとつては大切な意味があるのだと気が付きました。戦勝国である彼らも心に悔い負ひ七十年という年月が過ぎても、その傷癒えなれない。人も少なからずあります。当時、戦利品として持ち帰った旗を保管し、遺族を想われ、返還したいと切望される人たちは沢山いらっしゃいます。日章旗返還と共に、私たちがはげしい「家族」としての温かな気持ちをお届けしたいと思ひます。この度の外務大臣表彰は、長年に渡りサポートをして頂いた日本遺族会を始めとする各都道府県遺族会関係者の皆様や、日本サポーターの方々、日章旗提供者たち、そして、ご

- 古色付く数々の市評に父恋し七〇年の歳月超えて  
千葉市 石橋 嘉子  
甲斐の塔アノ一匹舞ひ降りて涙を語る慰霊の祭  
甲州市 三森 一雄  
沖縄の大海原を背負ひ立ち歩みなき声に語る慰霊碑  
青森県 田中 恭子  
遺族会幹部会出来はつとす孫は云へど局長さん  
佐世郡市 田中 暁  
北風が吹えて息づく夜に開くラゲルに逝きし父の泣く声  
足利市 西村 三代  
鳴く響く軍艦マチに戦慄せし八月八日話題に  
松尾美津子  
大箱で手足冷き井戸水で千代根は父の教へ  
那須塩原市 小河原勝夫  
悲しみの短歌のわく日は父とひし庭の白萩地にたれて

- 有難うございました。本会は、この活動を支援し、今後も多くの日章旗の返還に協力していただきます。
- 上野会では映像を通して核兵器の恐ろしさを知り、報告会で慰霊祭に参加した中学生から非核、恒久平和の願いが語られました。
- 開催期間中に、水落後栄本会会長(参議院議員、入村明妙高市長)が来場した。
- 群馬県では、太田市内の小中学校で太田市遺族会主催の平成二十七年戦争学習会「戦争のない平和の尊さを語り継ぐ」を今年七月から開催している。この学習会は、小・中・高の各学年の授業で「一つの花」という戦争教材が取り上げられていること
- から主に市内の小・中・高生を対象に四年前から始められ、今年度は十二校で開催予定。学習会には海外で父親を亡くした太田市遺族会員が参加し、「戦争で大切な家族を亡くした私たちから平和な時代の子供たちに伝えるメッセージ」などをテーマに自らの子供の頃の戦争体験を子供たちに話しかけた他、青い目の人形物語等のビデオ上映、埼玉県「スミュージアム」から借りた「一つの花」セット(ヘルメット、防災頭巾、配給切符等)の資料展示等を行っている。
- 部等含む慰霊参拝参加者及び女性部と英霊にたいする研修会(800)
- 若手県 11月17日 第59回若手県戦没者遺族大会(900)
- 栃木県 11月19日 終戦70周年記念栃木県戦没者遺族大会(800)
- 宮城県 11月26日 平成27年度女性部研修会(67)
- 富山県 11月27日 平成27年度戦跡参拝参加者の集い(65)
- 山梨県 11月29日 第41回山梨県女性部大会兼平成27年度女性部研修会(500)
- 山梨県 10月21日 11月20日 平成27年度九地区戦没者遺族大会(延べ1100)
- 埼玉県 12月5日 埼玉県遺族連合会青年部(仮称)発会式(40)
- 香川県 11月7日 8日 孫ひ孫による靖国神社、千鳥ヶ淵戦没者墓苑参拝研修(32)
- 福岡県 11月9日 終戦70周年記念福岡県戦没者遺族大会(1300)
- 鳥取県 11月10日 平成27年度沖繩県・鳥取県の塔・追悼式(39)
- 長野県 11月14日 青年部キックオフの集い(46)
- 京都府 11月14日 京都府戦没者遺族大会(600)
- 岡山県 11月14日 平成27年度岡山県戦没者遺族代表者会議(630)
- 滋賀県 11月15日 平成27年度滋賀県戦没者遺族大会(600)
- 愛媛県 11月16日 終戦70周年記念第44回和歌山県戦没者遺族大会(900)
- 新潟県 11月4日 5日 市町村地区遺族会会長、事務担当者並びに女性部合同研修会(83)
- 愛媛県 11月6日 平成27年度第2回理事会(23)
- 和歌山県 11月7日 終戦70周年記念第44回和歌山県戦没者遺族大会(900)
- 福島県 10月28日 平成27年度福島県戦没者慰霊祭(800)
- 新潟県 11月4日 5日 市町村地区遺族会会長、事務担当者並びに女性部合同研修会(83)
- 愛媛県 11月6日 平成27年度第2回理事会(23)
- 和歌山県 11月7日 終戦70周年記念第44回和歌山県戦没者遺族大会(900)
- 福島県 10月28日 平成27年度福島県戦没者慰霊祭(800)
- 新潟県 11月4日 5日 市町村地区遺族会会長、事務担当者並びに女性部合同研修会(83)
- 愛媛県 11月6日 平成27年度第2回理事会(23)
- 和歌山県 11月7日 終戦70周年記念第44回和歌山県戦没者遺族大会(900)